

## 「多重危機が世界で進行する中で、 世界を救えるのはやはり有機農業」

2023年度の市民講座は、2020年度に引き続きまして一人の講師による通年講座といたしました。講師は、民間稲作研究所常任理事の印鑰智哉さんです。印鑰さんにつきましては、今年2月の研究所公開シンポジウムにおいて「急速に進む命の分解」と題した報告をしていただきました。その報告内容の詳細を知りたいとの声がたくさんあり、今回の企画となりました。

### 第3回

#### 「ゲノム編集」食品は何か問題か？

2015年以降、遺伝子組み換え作物の作付面積は、規制等により減少方向にあります。そこで登場したのが、規制のかからない遺伝子組み換え技術としての「ゲノム編集」です。

ゲノム編集とは、自然に起こる進化を先取る技術で、起こしたい進化を担うDNAをねらって刺激を与え、自然の回復力でその進化を起こします。この技術の価値は“スピード”にあります。自然界や品種改良で長い時間をかけて起こった進化を、“速く”起こさせるのです。

今回はゲノム編集について、その技術をめぐる問題点、それを活用した食品の安全性などをお話していただきます。併せて、遺伝子（＝生物を形づけるために不可欠な設計図）を人為的に操作することの意味合い、また、生命とは何か、といった点を学びたいと思います。

#### 記

期日 2023年11月29日（水）  
時間 18時00分～20時00分  
会場 NPO 法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター（上三川町下神主233）  
（センター内30台駐車可。電車はJR石橋駅東口からタクシーで約5分）  
申込み 氏名・連絡先を添えTEL/FAX 0285-53-1133まで。  
民間稲作研究所のホームページからも申し込みます。  
会費 500円  
定員 30名（先着順）

#### 参加申込書

先着30名です。資料準備の都合上、11月27日（月）の午前中までにお申込みください

フリガナ			
ご氏名	他 名	連絡先 電話 FAX メール	
ご住所	〒		

問合せ：とちぎ有機の会 斎藤・高山（NPO 法人民間稲作研究所内）  
TEL/FAX（0285-53-1133）または同じ内容をメールで info@inasaku.org まで

年間予定（変更の際は通知やホームページでお知らせします）

< 2023年度 市民講座の開催内容 >

	月	日	内	容
第1回	7月	26日	(水)	工業型農業が多重危機を作り出した →放射線米がやってくる？
第2回	9月	27日	(水)	遺伝子組み換え食品は何をもたらしたか？
第3回	11月	29日	(水)	「ゲノム編集」食品は何か問題か？
第4回	※ 1月	17日	(水)	工業型農業から有機農業・アグロエコロジーへ ※ 当初予定より変更になっています。

[付記] 開催日や内容を変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。